



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県



神奈川県

令和6年 11 月 19 日

参考資料

(県政・藤沢記者クラブ・鎌倉市広報メディアセンター同時送付)

「黒岩祐治が行く！神奈川の現場」（知事現場訪問） 地域連携による新たなイノベーション創出を目指す 「横浜国立大学 新湘南共創キャンパス」を知事が訪 問しました

知事は、令和6年 11 月 19 日（火曜日）に、「横浜国立大学 新湘南共創キャンパス」（湘南ヘルスイノベーションパーク内）を訪問し、最先端のヘルステクノロジーを体験するとともに、地域の共創活動に取り組む学生と意見交換を行いました。

はじめに、横浜国立大学の梅原学長から、新湘南共創キャンパスや地域の共創活動について、説明がありました。

新湘南共創キャンパスでは、ヘルスイノベーション最先端拠点形成に向けたヘルステクノロジー研究の推進や実証実験、人材育成活動、ステークホルダーとの共創活動等が行われています。

続いて、ウェアラブル端末を活用した転倒リスクの診断技術、ペンタブレットやAI解析を活用した軽度認知障害の診断技術、といった横浜国立大学の最先端のテクノロジーを体験しました。

最後に梅原学長や地域の共創活動に取り組む横浜国立大学の学生などと意見交換を行い、学生からは今自分が研究している技術を一早く社会に届けたいといった声もあり、横浜国立大学が研究しているこうした最先端のテクノロジーの社会実装が期待できます。



県としては今後も、こうした地域の共創活動等と連携しながら、超高齢化社会の課題解決に向けた取組を進めていきます。



【参考:横浜国立大学 新湘南共創キャンパスについて】

横浜国立大学がヘルスイノベーション最先端拠点形成に向けたヘルステクノロジー研究の推進や実証実験、人材育成活動、ステークホルダーとの共創活動等を充実させるため、令和5年11月に湘南ヘルスイノベーションパーク内に設置。新湘南(藤沢市村岡、鎌倉深沢および周辺地区と定義)の様々なステークホルダーと連携し共創活動を進めることで、最先端かつ学際的な研究による新たなイノベーションの創出を目指すとともに、地域での実践的教育の展開を通してイノベティブ人材育成を行っています。

<https://www.chiiki.ynu.ac.jp/satellitecampus/index.html>

《SDGsの推進について》

県では、SDGsの達成にもつながる取組として、あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、また、持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図るため、ヘルスケア分野の研究を進めています



問合せ先

神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室

ライフイノベーション担当課長 常山 電話 045-285-0038

最先端医療産業グループ 高木 電話 045-285-0187